



・企業プロフィール

- ・理事長／村田 速実
- ・本社所在地／鳥取県倉吉市
- ・従業員数／424名(2025年9月現在)
- ・設立／昭和41年

・企業概要

鳥取県中部(倉吉市を中心)で、児童、障がい者、高齢者施設等25施設を運営する。「地域を愛し地域の皆様の幸せのために心を込めて奉仕します」を基本理念とし、地域と連携し様々な活動に取り組んでいる。

健康で活力あふれる職場をめざして

現状など

高齢者・障がい者施設を中心に職員の高齢化が進んでいる。若い人材がなかなか増えない。人材確保が進まず、時間外労働が増えている。

働き方改革の取組など

生産性向上委員会の設置

→労働時間を短縮させるため、業務の効率化、デジタル化を推進。
Ex)保育現場の負担軽減ソフト「ルクミー」の導入など。この取組により、一人当たりの月間残業時間を約6時間、短縮した。

職員の健康維持・増進の推進

→社内に「心と身体の健康促進部会」を設置し、健康に関する各種研修会を積極的に開催している。
Ex)良質な睡眠と健康 研修、出張がん予防教室、メンタルヘルス出前講座、健康づくりのための食生活研修等

研修制度の充実

→社内に「キャリアサポート室」を設置し、各階層別に職務に応じた必要な研修を実施している。
Ex)ハラスメント研修、改正育児介護休業法研修等

短時間代替職員の配置

→過去の在職者に、スポット的に短時間、短時間の勤務をお願いして、子育て支援、確実な休憩時間の確保等に取り組んでいる。この取組により、職員が安心して働くことができる職場を実現している。

年間休日数の増加

→令和7年度から年間所定休日数をこれまでの107日から114日～117日に増やした。労働環境が整備されたこともあり前年度より多くの職員を採用することができた。

時間単位年休制度の導入

→時間単位の年休取得制度を導入することにより、柔軟な働き方が可能となった。年次休暇の取得日数も増加し、法人全体の令和4年から令和6年までの平均取得日数は、12日となった。



職員交流会の様様



お話しを伺った
村田理事長

その他の取組

地域との交流・職員間の交流

→9施設合同の文化祭を毎年11月に開催し、地域住民や学生ボランティアも参加。地元中学の吹奏楽部の演奏、小学生のスタンプラリー等の催しで地域との交流を図っている。地域とのつながりを大切にすることで、次世代の人材確保に取り組んでいる。
→法人全体の職員交流会を毎年春と秋に開催。施設の枠を超えて交流することで、法人全体の連帯感が生まれている。

従業員の声 その1

(介護施設)業務主任

介護記録ソフトの導入により、手書きや転記の作業が無くなり、記録にかかる時間が半分になるなど、業務効率が飛躍的に向上した。記録作業で残業することが無くなり、時間に余裕ができたことで心にもゆとりができ、より働きやすい環境になった。

従業員の声 その2

(育休明け短時間勤務職員)保育士

長男出産後から、今回で3回目の時短勤務をしている。自分の子どもに関わる時間を長くとりたい思いから利用している。子どものお迎えまで自分の時間にあてられるので、大変助かっている。



従業員の声 その3

(保育園)保育士

休日が増えたことで、子どもや家庭のことで必要な時に休みが取得しやすくなり、子育てとの両立ができてありがたい。行事前は作り物などで業務が増えるが、他の職員が進んで手伝ってくれたり、業務時間の調整をしてくれるので残業することなく、業務の負担が減って助かっている。

従業員の声 その4

(保育園)副主任保育士

5S活動の一環で外と園内の倉庫を整理。倉庫内が広々となり、保管しているものも探しやすくなったことで、在庫のあるなしや状態の確認もすぐでき、無駄な買い物や、探す手間もなくなり、気持ちにゆとりができた。



今後の取組目標

長時間労働の縮減

→フルタイム職員一人当たりの時間外労働時間を月平均5時間以内とする。

今後の取組や目標

次世代の人材確保

→社内行事(福祉の里まつりや文化祭)に地域の学生ボランティアに参加してもらい、つながりを大切にすることで次世代の人材確保につなげたい。